

## 町立辰野病院運営委員会会議録

日時 令和4年8月18日(木) 15:00～:16:40

場所 町立辰野病院 講堂

【出席者】(委員) 岩田清 津谷彰 古村慎二 有賀功 増澤英徳 花岡直人 北條佳子 金子文武  
武居町長 漆原院長 今福事務長 打越院長補佐 原看護部長 清水看護副部長  
桑原事務長補佐 中村庶務係長 赤羽医事係長

【欠席者】(委員) 佐々木希典

### 進行 15:00 今福事務長

お疲れ様です。お忙しいところお集まりいただきまして大変ありがとうございます。昨年度はコロナの影響で開催することが出来ませんでした。今回初めて顔を合わせることとなりますので、こちらからもお伝えしたいことがありますし、みなさんもお聞きしたいことがあるかと思っておりますので、忌憚のないご意見を出していただければと思います。また、昨年度委員の改選があり、委員長、副委員長につきましては、事務局の方で事前をお願いをさせていただきましたので、ご了解いただきたいと思います。委員長に金子文武さん、副委員長に増澤英徳さんをお願いいたしましたので、どうぞよろしく願いいたします。それでは、開会の言葉の方を副委員長の増澤さんよろしく願いいたします。

### 1. 開会

(増澤副委員長)

改めましてみなさんこんにちは。コロナがなかなか収束しませんが、只今より町立辰野病院の運営委員会を開催いたします。ご審議のほどよろしく願いいたします。

(今福事務長)

協議事項までは私の方で進行させていただきます。それでは最初に武居町長からご挨拶をお願いいたします。

### 2. あいさつ

(武居町長)

皆さんこんにちは。大変お忙しい中ご出席ありがとうございます。新たに委員になられたみなさん今後もお世話になりますがよろしく願いいたします。

さて、挨拶ということでございますが1点ご報告させていただきます。新聞にも報道されましたがコロナの感染者になってしまいました。無事10日間の自宅療養を終えて復帰することが出来ました。7/24に4回目のワクチン接種を受けましたが、8/2夜にウォーキングに出かけようとしたところ熱っぽく、体温測定をしたところ38.7度の熱がありました。翌日辰野病院を受診したところ、陽性判定されました。前日に高齢の両親に5分ほど接触していたので心配していましたが、2日後両親も妻も陽性判定となり、父は伊那中央病院へ2日間入院となりました。医療の現場ではひとり一人丁寧に対応していただきまし

た。感染経路は全く分からずコロナの怖さを知りました。ご心配ご迷惑をお掛けいたしました。いろいろ勉強になった数週間でありました。みなさんも十分気を付けていただきたいと思います。あいさつには関係ありませんでしたが、冒頭のあいさつに代えさせていただきます。

(今福事務長)

ありがとうございました。続きまして金子運営委員長ご挨拶をお願いいたします。

(金子委員長)

みなさんこんにちは。このメンバーでなかなかお行き会い出来ずにここ数回書面決議となっておりますが、やっとこのような開催となりました。みなさんから忌憚のないご意見をいただけて素晴らしい辰野病院の運営が出来ますようにみなさんのご意見をよろしくをお願いいたします。

(今福事務長)

ありがとうございました。引き続きまして漆原院長よりご挨拶をお願いします。

(漆原院長)

みなさんこんにちは。本日はお忙しいなか、町立辰野病院運営委員会にご参集いただきまして、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の第7波が猛威を振るう中、ここ辰野町でも、これまでになく多数の感染者が発生しています。そんな中、当院では発熱外来と感染者の確認検査ならびにワクチン接種の対応に追われている毎日です。そして職員一同、地域の町立病院として、その役割が果たせるよう、一丸となって取り組んでおります。

また、後ほど担当者から詳細を説明させていただきますが、昨年度の当院の経常収支につきましては、お陰様で5,225万5千円の黒字決算・案を、本日ここにお示しすることとなりました。これも一重に、辰野町並びに関係各位のご支援・ご協力によるものと心から感謝申し上げます。それに加えて、病床利用率の高い水準での維持や、ワクチン集団接種における休日返上での参加など、当院職員の士気の高い鋭意努力の結果とも評価しております。

そして、この結果に甘んじることなく、さらに地域の方々に安心して喜んで頂ける医療を提供し、親しまれる町立病院として、より良い病院運営を目指してまいりたいと考えております。そのためにも、本日の会合が、地域の皆さまのために、そして当院の発展につながることを切に願っております。

それではよろしくご挨拶申し上げます。

### 3. 自己紹介

(今福事務長)

ありがとうございました。それでは昨年改選になっておりますので、改めて自己紹介の方をお願いしたいと思います。

～自己紹介～ (金子委員長より順番で)

(今福事務長)

続きまして、本日初めての委員会ですので正副委員長の選出なのですが、こちらの事務局案でよろしいでしょうか。院長の方に金子文武さん、突然で申し訳ございませんが、副委員長に増澤英徳さんをお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

(金子委員長)

辰野病院の引き続き健全経営で目標を持ちながらまたこの1年間さらには辰野病院がずっと健全経営ができるよう運営委員会を委員の皆さんの協力の下で行っていきたく思いますので改めてよろしくお

願います。

#### 4. 病院長からの経過報告

(今福事務長)

それでは、病院長の方から経過報告を申し上げますのでよろしく願います。以降は着座にて進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

(漆原院長)

着座にて失礼いたします。協議事項に入る前にですね、今日は久しぶりの運営委員会ということで、昨年度から今年度に関する経過、特に診療体制と新型コロナに対する当院の対応について説明させていただきたいと思っております。

昨年2月から、外科医1名非常勤医師の浅沼医師が勤務を始めていただきました。水・木・金曜の外科外来、水曜日の当直勤務を担当していただいております。浅沼医師は、乳腺外科が専門で、乳がん検診の受け入れ可能人数が増えて助かっています。また、外科常勤医不在の中、水・木・金と後同一の医師による一般外科対応が出来るようになり、外科の受診がしやすくなっています。

昨年6月から、泌尿器科外来が水曜日に加えて第2・4金曜日にも増枠となりました。それまでの水曜日の泌尿器科外来が大変込み合っていましたので、緩和され助かっています。

昨年6月から、金曜日午前上部消化管内視鏡（胃カメラ）の枠が増えました。消化器内視鏡内視鏡専門医の<sup>あがわ</sup>吾川医師が担当しています。現在は第2・第4金曜日のみですが、これまでは金曜日の外来検診に胃カメラがありませんでしたが、現在は同日に実施出来るようになりました。

昨年9月から、新たに長野県修学資金貸与医師の非常勤医師神谷医師（30歳代）1名の確保が実現しました。総合診療・救急診療・さらに発熱外来など、外来診療を専門に、平日・日中を終日担当してもらっています。これまでは、午後に予約外来で来院する患者さんや救急車への対応が内科常勤医の大きな負担となっておりましたが、現在はこの神谷医師が一手に引き受けてくれ大変に助かっています。4月からコロナの外来患者が増えていますが、最近は、1日30～40名の発熱外来を診療しており、また、金曜の夜間当直も担当しております。

長野県修学資金貸与医師として1名だった常勤医の枠ですが、当院から信州大学医学部に継続的に働きかけを行ってきた効果もあり、2名に増員となりました。赴任した2名とも内科医で、1人は山本医師で、信大循環器内科に所属し、循環器内科専門医です。もう1人は近藤医師で、信大消化器・腎臓内科に所属し、専門は腎臓内科です。お二人とも30歳代と若く、町内に住み込んで夜間や休日のオンコール体制にも積極的に対応してくれており戦力となっております。入院受け持ち患者数も、それぞれ15～25名程度と活躍されています。そのことが病床利用率の高い数値に繋がっています。

一方、元院長の土屋文夫医師につきましては、ご本人の希望もあり本年4月からは入院受け持ちなしのベッドフリーとし、火曜・木曜午前の外来診療のみとなりました。

本年4月から常勤薬剤師が1名確保でき、2名から従来の3名体制に戻すことができました。

続いて新型コロナ関連についてです。

ワクチン接種については、昨年春から当院での集団接種を開始しております。1、2回目を昨年5月から7月にかけて平日・休日とも実施し急ピッチで進めました。3回目は本年2月～、4回目は7月～火・金の午後に実施中です。また、5～12歳までの小児への接種も4月～木曜午後に小児科の日高医

師により実施継続中です。

このところ第7派の襲来により、発熱外来の患者数が急増しており、内科はもちろんのこと、特に小児科の受診者数が急増して外来診療がひっ迫しました。また、新型コロナ検査の件数が急増し、当院臨床検査技師4名が平日はフル稼働、夜間・休日は当番制で対応していますが、抗原定量検査は1日に可能な検査件数を超えてしまうこともあり、最近では適宜抗原定性検査で代替えして行うことも増えて来ています。さらに、これら検査での陽性率がこれまでになく上昇していることも、外来診療業務をより煩雑・多忙なものとしています。看護部・検査科を中心にがんばっていただいております。

先日、伊那保健所から当院に連絡・依頼があり、新型コロナウイルスに対する抗ウイルス剤であるラゲブリオ（内服薬）の処方当院で出来るようにして欲しいとのことでした。いくつかの理由により当院では処方出来なかったのですが、現在、準備・調整中で近いうちに処方出来るようにしたいと考えています。

ニュースや政府からのアナウンスにもありますが、新型コロナウイルス感染症が現在の2類感染症から5類感染症に引き下げる可能性がありまして、その場合に備えて事前に当院でも診療体制の見直しを行って、抗ウイルス剤の処方や感染患者の入院受け入れについても対応していかなければならないと考えています。5類感染症になるとインフルエンザと同じ扱いになりますので、現在は入院が必要な方は感染症指定医療機関へお願いしていますが、当院の方で入院して病床に入れなければいけない状況になります。その時には入院患者さん同士の感染拡大を防いだり、感染予防策のレベルを高めていかなければいけない。それに対するルール作りやトレーニングに力を入れていかなければいけないと思っております。

経過報告については以上になります。

（今福事務長）

ありがとうございました。後からいらっしゃった方がおりますので、自己紹介をお願いします。

～自己紹介～（花岡直人委員、中村係長）

それでは以降の進行は委員長のほうでお願いします。

## 5. 協議事項

### （1）令和3年度町立辰野年度町立辰野病院事業決算について

（金子委員長）

それでは、協議事項に入りたいと思います。最初に（1）令和3年度町立辰野病院事業会計決算について事務局の方から説明をお願いいたします。

（概要：今福事務長）

それでは私の方から概要を申し上げて、詳細につきましては、担当の方から説明申し上げます。

資料 No.1 「令和3年度 町立辰野病院事業会計決算書」 P6 読み上げ

以上概要を申し上げましたので、詳細につきましては、担当から説明いたします。

（桑原補佐）

資料 No.1 「令和3年度 町立辰野病院事業会計決算書」（案）

上記について説明

（金子委員長）

今の状況につきましては、資料の 6 ページに先ほど事務長が概略を申し上げましたように書いてありますので、そこをご覧いただければほぼ状況は把握できるかと思います。決算の状況ですが、みなさんからのご意見を頂戴したいと思います。数字が多いですが決算書に関連したことでも結構です。

コロナの関係で「診療控え」をいうのは、辰野病院、同業者さんの影響はどうでしたか。

(漆原院長)

2020年の冬から春にかけてコロナが出始めた時は、芸能人の方が亡くなったりして、大変な疫病がでたという認識で患者さんが来院しませんでした。病院に来ると移るから怖いと言って薬だけという感じでした。第2波が収まり第3波と進んでいく頃には、だんだん患者さんも増え、第6・7波になると逆に病院で検査をしてもらおうという目的意識から患者数が増えてきた感じでした。

(今福事務長)

令和2年4月から6月が健診もしないという感じで受診控えがありました。令和3年になるとコロナに慣れてきたのか患者数も増えてきました。受診控えが一番響いたのは令和2年です。

(漆原院長)

令和2年は外来・入院とも患者数が減少し赤字が230万円ほどでしたが、ワクチン接種を土日を含めてやったりしたので今までにない収入がありました。今年度に入っては、抗原検査を中心としたコロナ検査の受診者が非常に増えているので、皮肉なことにコロナが流行したことが病院の増収に繋がっているというのがこのところの傾向です。

(金子委員長)

参考までに開業さんはどうですか。

(古村委員)

同じような傾向が2年前は見られました。辰野病院でコロナ対応を一手に引き受けていただいていますので当院では患者が増えたということはありませんが、全年齢においてコロナ以外の感染症は明らかに減っていると思います。特に子どもたちは、ここ1年半くらいワクチン以外ではほとんど診ていない状況です。

(岩田委員)

9ページのキャッシュフローですが、かなり増えていますがこういう状況になり事務長が資金繰りに苦労してきましたが、こういう状況だったらいいですね。

(今福事務長)

自転車操業みたいな状況は免れてきた感じでした。いつも期末に苦労してきましたが資金的には楽になりました。コロナの関係で令和2年は補助金がありいろいろ購入出来ました。令和3年はワクチン接種の補助があり助かりました。

(金子委員長)

令和3年度町立辰野病院事業決算について、みなさんご承認いただけますか。

ありがとうございます。承認いただきました。

## (2) 町立辰野病院の運営状況について

(金子委員長)

(2) 町立辰野病院の運営状況について、事務局説明をお願いします。

(桑原補佐)

資料No.2 町立辰野病院年度別経営状況

資料No.3 町立辰野病院事業経営状況一覧表（2022年6月）

上記についてそれぞれ説明

（金子委員長）

ただ今の運営状況についてご質問ありますか。

病床利用率もいいですね。

（今福事務長）

このままいけばいいのですが。

（漆原院長）

毎年の傾向として、一番病床使用率が凹むのが、4月から6月くらいですので、今年はその部分が底上げ出来ているので、来年3月までいつも通りの利用率が確保出来れば良い数字が出るのかなあと考えています。これまでになかった傾向ですが、外来の小児科の医業収益を見ていただければわかると思いますが、去年の倍に伸びてまして、小児科の日高先生の外来がコロナ患者で混んでいて、仕事量の倍増が収益にも出ています。

（今福事務長）

補足ですが、今年度の予算につきましては、一般会計の繰入金金を5,000万円減額し4億でがんばろうというところです。そこを補わなくてはいけないというところです。

（金子委員長）

その他どなたか質問ありますか。

（花岡委員）

外科の先生はいませんか。

（漆原院長）

先ほど花岡委員がいらっしゃる前にお話ししましたが、常勤医師はいません。昨年2月から非常勤の麻沼先生に週の半分は来ていただいています。簡単な外科処置と乳腺関係の検診を診ていただいています。月・火・土は外部から伊那中・諏訪日赤から来ていただいています。日中の患者は簡単な外科処置が来ていますが、入院が必要な患者さんは、入院して外科処置が出来ないので、伊那中などに転送している状況です。

（花岡委員）

赴任の状況は困難ですね。

（漆原院長）

外科医の確保は、10年以上前から麻酔科医がいないと手術できない状況になっていますので、二人以上の外科医と麻酔医を集めるという構想は成り立たないかと考えています。

### （3）その他

#### ・公立病院改革プラン点検報告について

（金子委員長）

（3）その他 公立病院改革プラン点検報告について 事務局説明をお願いします。

（中村係長）

資料No.4 町立辰野病院改革プラン 令和3年度報告

上記について説明

(金子委員長)

ただいま改革プランの説明をいただきました。年度ごとの数値が載っておりますが、みなさんからのご意見ありましたらお出してください。

プランの策定についても説明をお願いします

(今福事務長)

資料No.5「町立辰野病院経営強化プラン」策定について

上記について説明

(金子委員長)

強化プランについてみなさんご意見ありますか。事務局の説明は以上でよろしいでしょうか。

その他の部分で委員のみなさん方からせっかくの機会ですのでいかがでしょうか。

(花岡委員)

一般会計の繰入金4億5千万のうち特交はどのくらいつくのですか。

(今福事務長)

2億5千万から3億くらい、交付税でつきます。

(花岡委員)

持ち出しとしては2億くらいということですね。

(金子委員)

日頃プレス発表されるコロナ患者の数はどのように積み上げられるのでしょうか。

(今福事務長)

病院の立場では、病院の発生届を保健所にします。また、ハースのシステムに当日分の登録をしますが、どの時点でカウントしているのかはわかりません。とにかく入力が大変な作業になっていまして、30人ほどになると労力が大変です。

(中村係長)

加えて辰野町に住所のある方は、保健所が各医療機関の数値を集約して発表されていると思います。

(金子委員長)

日頃感じていることでもなんでも結構ですので何かございませんか。

(北條委員)

新しい病院になる前では子どもが小さかったので大変お世話になりましたが、新しい病院の方が収益はいいのでしょうか。

(今福事務長)

小児科に限っては常勤の医師がいたので旧病院の方がよかったです。平成29年から常勤医に来ていただいているのでとても良いです。平成15・16年の医師がいっぱいたった時は良かったですが、国の臨床研修医制度で医師の引き上げがあり、医師減、収益減となり、やりたいことも出来ない、看護職員も集まらないという感じで、平成20年くらいまでは非常に厳しい状態でした。今後の病院について住民の方からも厳しいご意見をいただいたりしました。その頃、地域医療再生事業が上伊那地域に来て、そのお金で病院を新しくしようと動きが出ました。新しい病院では、苦労はしていますが看護師が集まるようになりました。診療の体制も変化していきますが、収益を見ますと右肩上がりになっている状況です。

(漆原院長)

平成 16 年の医師の集約化で小児、産婦人科、整形の常勤医が少なくなり新築移転するまではかなり厳しい状況でした。その中で移転したことで町の規模に合った地域医療に特化した内科や高齢者中心に地域連携出来ている。その時代に合わせた目的を明確にして連携してやっていけば成り立つ。病院の経営強化で大きな部分は、医師一人がどれだけ働いてくれるか。今年度は新しい 30 代の 3 人の医師ががんばってくれている。こういった先生が 2・3 人いることがとっても大事。どこまで維持出来るかが問題ではありますが。信大の地域医療推進室と県の修学資金貸与医師の人事に関してはかなり継続的に医師を送ってくれる関係が今出来ています。来年度以降も確保できる予定です。そこを太いパイプにして、若手でしっかり働く医師を常に確保していく。卒後 10 年くらいの医師だと、責任とやりがいを持って出来るんじゃないかと思います。

(古村委員)

外来のスペースはフルに使っているようですが、これ以上診療科を増やすことはありますか。

(漆原院長)

今の医師数だと増やす必要はないです。診療科を増やすとなるとスペースが狭くなってしまいます。

(今福事務長)

現在、皮膚科と泌尿器科が同じ診察室で曜日を変えて診療しています。神経内科も外科の一部で診療しています。

(古村委員)

手術や分娩の施設はどうですか。

(今福事務長)

産科については 4 階に建てられるようにしてはありますが、それはありえません。オペ室は整えてあります。

(増澤委員)

経営方針、強化策など良い方向に進んでいる。2025 年増々高齢化になっていくので、ぜひこれからも地域ファーストでよろしくお願いします。

(津谷委員)

町立の病院があるということは地域包括ケアシステム構築の中でとても重要な位置付けであると思います。居宅介護支援事業所においてはケアマネ 1 人ですので、受け持ちの数もこれ以上伸びない、頭打ちになると思います。高齢化率 38%という中で、サービスを必要とする人も増えてくると思います。経営強化策定プランの中に居宅介護支援議場や地域ケア病床を増やすというビジョンはありますか。

(今福事務長)

居宅介護支援事業については今まで主任ケアマネ 1 人でしたが、8 月に育休復帰者がケアマネの資格更新中ですので、少しずつ利用者を受け入れることが出来ると思っています。訪看の職員もお手伝い入っているので充実させたい。地域包括ケア病床は 37 床あるが、病棟化するかどうかなどは検討しています。

(漆原院長)

一般病床のニーズが下がってきて高齢化が進み、地域包括ケア病床の利用による収益が増えれば増床もあるが、具体的な数字はないが、増床案もあります。

(岩田委員)

機能分化が出来て、辰野の医療体制がひとつにまとまっていけばよい。数値もよくなっていて良い。

(漆原院長)

5～10年くらいは高齢者中心の診療体制で収入と地域ニーズが維持できると思う。10年以上になると患者も減ってきて、辰野をどうするのか、地域包括ケア病床のベッド数や一般病床数・職員数の減少時代がくるのかと思います。

(岩田委員)

新しい病院になって院長中心にまとまってきたので、10年という直近の目標でがんばっていただきたい。

(金子委員)

ではその他で何かございますか。なければ協議事項全てをこれで終了します。事務局へお返しします。

## 6. 閉会

(今福事務長)

ありがとうございました。それでは閉会のことばを増澤副委員長お願いします。

(増澤副委員長)

以上をもちまして町立辰野病院運営委員会を終わりにします。みなさん大変お疲れ様でした。